

特別の教科 **道徳** が はじまりました！

社会や地域、家庭の状況の変化や、情報通信技術の発展による人間関係の変化、深刻ないじめ問題の発生などを背景に、小学校では今年度から、中学校では来年度から道徳が教科となります。

道徳科の授業では、子どもたちが本音で語り合い、多様な考え方に触れる中で、いじめ問題をはじめとする現実の様々な問題に対応できる資質・能力を育てていきます。

1. 教科(道徳科)になると何が変わのでしょうか？

- 国語、算数などと同じように教科書を使います。
- 教科書には、「はしの上のおおかみ」、「二通の手紙」などの読み物教材が載っています。各教材を活用して、下の表で示した内容項目「親切、思いやり」、「遵法精神、公德心」などについて考えていくきっかけとします。
- 通知表に文章での評価が追加されます。
※詳細は裏面の3を御覧ください。
- 「考え、議論する道徳」を一層充実します。

例えは

「いじめはいけないことです。」などを先生が一方向的に押し付けるのではなく、「なぜ、いじめをしてはいけないのでしょうか?」と、子どもたちが自分自身の問題として向き合う、「考え、議論する道徳」の授業を行います。

2. 道徳科ではどのような学習をするのでしょうか？

道徳科で学習する内容(内容項目)は、次のA～Dの大きく4つに分類されています。これらの学習内容は、基本的には教科化される前と変わりません。

将来、道徳的な問題に出会ったときに、よりよい選択や判断ができる力を育みます。

表	A 自分自身に関すること	B 人との関わりに関すること	C 集団や社会との関わりに関すること	D 生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
(キーワード)	善意の判断 正直、誠実 希望と勇気、 克己と強い意志 など	親切、思いやり 感謝 礼儀 友情、信頼 など	遵法精神、公德心 公正、公平、社会正義 家族愛 郷土を愛する態度 国際理解 など	生命の尊さ 自然愛護 感動、畏敬の念 よりよく生きる喜び など



ご家庭においても、学習したことについて話し合ってみてください。



今日は道徳科でどんなことを勉強したの？

思いやりについて勉強したんだ。
そのときに、「助けることだけが思いやりじゃない。」って言う子がいたんだけど、
どうということかな？

困っていて助けてもらいたいときならうれしいけど、自分で頑張ろうとしているときは見守ってほしいってことかな。
見守ることも思いやりってことだと思うよ。思いやりにもいろいろあるんだね。



3. 道徳科の評価はどのようになりますか？

子どもたちの道徳性については、心の内面のものなので安易に評価することができません。そこで、授業での「様々な見方や考え方ができたか。」など目に見える姿を評価します。他教科とは異なり、記述式で評価することなどから、道徳科は「特別の教科」として位置付けられています。

成長の様子は次のような方法で見取ります。


- 先生の観察・聞き取り
- 友達との会話
- 授業プリントやノートの記述 等



- 子どもがいかにか 成長したかを積極的に受け止め、励ましていく個人内の評価です。
- 道徳科における評価については、中学・高校入試において、情報を提供したり、合否判定に活用したりすることはありません。
- 「親切、思いやり」など個別の内容項目(表面の表)の 評価は行いません。学期や年間ごとのまとめりで評価します。

4. 群馬県の特徴ある取組はありますか？

群馬県では各学校に郷土の特色が生かせる教材として「ぐんまの道徳」を配布しています。主たる教材としては教科書を使用しますが、「ぐんまの道徳」の教材を入れ替えて活用できるようにしています。



中学校	小学校5・6年	小学校3・4年	小学校1・2年
⑥ 新しい日本文学をめざして ⑤ 久米民之助の夢 ④ 天明の大噴火・鬼押出し ③ 近代日本の発展のために ② 伊勢崎鎔仙とともに ① 多胡碑の保存に尽くす	④ 飛行機王 ③ また会おうね ② 自責の杖 ① 農業の発展のために	④ 字を書きたい ③ 世界遺産の富岡製糸場 ② りっぱなまゆをつくりたい ① 上三原田の歌舞伎舞台	④ 「やぎぶし」の れんじゅう ③ ゆはたけのおゆ ② えんぎだるま ① うみと林のうはといの上たけし

「ぐんまの道徳」で取り上げている教材

例えば、「『多胡碑の保存に尽くす』～楢取素彦～」を活用して、次のような授業が行われます。



- ① 郷土の文化財について知っていることを発表し合います。
 - 「群馬が全国に誇れる文化財にはどのようなものがあるのでしょうか。」
 - ・古墳 ・岩宿遺跡 ・富岡製糸場 ・多胡碑 など
 - ・初代県令(知事)であること、群馬県のことをとても大切に考えていたことなどをおさえます。
- ② 保存されずに、そのまま放置されていたら多胡碑はどのようになっていたかを考えます。
 - 「どうして楢取素彦は多胡碑を保存しようと思ったのでしょうか。」
 - ・自分の考え →ペアでの話し合い →学級全体で交流し、対話へとつなげます。=[考え、議論する道徳]
 - ・学習したことを通して、身近にある文化財に今までどのように接してきたか考え、自己を見つめます。
- ③ この時間に考えたことを振り返ります。
 - ・学習を終えて、郷土の伝統や文化への思い、先人の努力についての思いを深めます。